

2021年度 広域ヨーロッパ研究センター活動報告

講演会・研究会・ワークショップの開催

共通テーマ：広域ヨーロッパの論点 (Issues in the Wider Europe)

「内なる国際化」および国際交流協定校との学術交流の推進と連携して実施した。

◆Insurance Accounting: Perspectives from Japan and Europe

2021年5月31日

オンライン会議システム (ZOOM) によるワークショップ：以下の日独の専門家を招き、保険会計と規制をテーマに報告していただいた。

Prof. Dr. Jan-Hendrik MEIER (クリスティアン・アルブレヒト大学キール)

Dr. Stefan SCHWEINBERGER (アースト&ヤング、ドイツ)

Prof. Nobuyasu UEMURA, Ph.D. (福岡大学)

Prof. Takefumi UENO, Ph.D. (静岡県立大学) *

Prof. Dr. Stefan VEITH (ブレーメン経済工科大学) *

ワークショップの内容：金融規制に関しては EU が先行する形で行われている。EU 内で最も模範的に規制を実行しているといわれているドイツで得られた知見をうかがうとともに、日本の現在の状況をシェアすることを通じて、最適な保険業の金融規制、基準の在り方について考える機会を設定した。本ワークショップはオンラインで行い、日独の専門家 20 人以上に出席者して頂いた。現在、本ワークショップの成果を論文としてまとめるべく、現在共同研究を実施しているところである。

◇“Behind the Scenes of the Biden-Putin Summit: What did the Biden-Putin summit mean to the world?” (バイデン＝プーチン首脳会談からみえてきた米口関係)

Danila Galperovich (Voice of America, Russia's Service)

2021年7月20日(火)

オンライン会議システム (Zoom) による遠隔講義

◇「報道と国際政治」

池畑修平氏 (NHK 国際放送局)

2021年7月21日(水)

オンライン会議システム (Zoom) による遠隔講義

◇“Persecutions of Christians and The Church in Nigeria”(ナイジェリアのキリスト教徒と宗教迫害)

Patience Patrick 氏 (ナイジェリア出身)

2021年10月27日(水)

オンライン会議システム (Zoom) による遠隔講義

◇「日本からスコットランド独立問題を考える」

加藤昌弘氏 (名城大学人間学部准教授)

2021年11月4日(木) 14:40-16:10

オンライン会議システム (Zoom) による遠隔講義

◇「音楽芸術と言語を通じて」

高野ベック弥生氏 (ピアニスト)

2021年11月18日(木) 14:40-16:10

オンライン会議システム(Zoom)による遠隔講義

- ◇“From Backsliding to Democratic Breakdown: An Overview of Turkey’s Autocratization in the 21st Century”(民主主義の後退から崩壊へ:21世紀の権威主義化したトルコ)

メルト・アルスラナルプ氏(ボアジチ大学国際関係学部)

2021年11月19日(金)13:10-14:30

オンライン会議システム(Zoom)による遠隔講義

- ◇“International Migration to Turkey in the Context of the European Union”(EUから見たトルコへの国際的な人の移動)

ディレク・チナル氏(ボアジチ大学国際関係学部)

2021年12月15日(水)15:00-16:20

オンライン会議システム(Zoom)による遠隔講義

- ◇「美術をサポートする」

拝戸雅彦氏(愛知県美術館館長)

2021年12月16日(木)14:40-16:10

オンライン会議システム(Zoom)による遠隔講義

- ◇「Selam 『こんにちは』のトルコ語講座」(初学者向け入門編、全5回)

メルト・アルスラナルプ氏(ボアジチ大学国際関係学部)、

第1回 2022年1月24日、第2回 2022年1月26日、第3回 2022年1月28日、第4回 2022年1月31日、第5回 2022年2月2日

すべてオンライン会議システム(Zoom)による開催

- ◇“Turkey - US Relations: a Reset that isn’t there”(トルコ・アメリカ関係:見えない関係改善)

ギュン・クット氏(ボアジチ大学国際関係学部)

2022年1月19日(火)14:50-16:30

オンライン会議システム(Zoom)による遠隔講義

【WERC 協力事業】

- ◇合同ゼミ学生発表会の開催(2021年12月7日、オンライン会議システムによる開催、4ゼミの参加、5件の発表、26名の参加)

- ◇『ヨーロッパ留学体験記』第二版(新入生に配布)の作成

- ◇『ローカルから見るヨーロッパ』(エッセイ集・新入生に配布)の作成。

- ◇連続講座『県大×おまちゼミ ヨーロッパ旅行・予習編』の開催

街中のオープンスペースやレストランなどを会場に、ヨーロッパにゆかりのあるゲストを招き、マンガや食文化など親しみやすいテーマをとりあげた。

- ◇ 第1回「ヨーロッパとManga」(2021年5月12日)

ボドゥ・フォステイン氏(静岡市国際交流員)、ファイファー・マティアス、森直香
静岡県立大学

118名(一般4名、学生・教職員114名)参加

- ◇ 第2回「お菓子とワインで知るフランス文化」(2021年6月26日)

マルチノ・ロベル・ジル氏(フランス人美食ジャーナリスト)、小窪千早

オンライン会議システム(Zoom)による開催

26名(一般15名、学生11名)参加

- ◇ 第3回(2021年7月21日)

「歩きながら古いパリを発見する」

「著作権や印税などについてーバルザック、フロベール、そして三島由紀夫」

東京大学名誉教授・放送大学客員教授・宮下志朗氏、
静岡県立大学
前半 38 名、後半 34 名参加

◇ 第 4 回「演劇でヨーロッパと日本をつなぐ」SPAC(静岡県舞台芸術センター)(2021 年 10 月 30 日)

永井健二氏(俳優)、中筋朋氏(京都大学大学院准教授)、
オンライン会議システム(Zoom)による開催
44 名(一般 19 名、学生 25 名)参加

◇ 第 5 回「フランス海外県への誘い」(2021 年 11 月 22 日)

メレザン・シリル氏(フランス語講師)
静岡県立大学
41 名(一般 14 名、学生 27 名)参加

◇ 第 6 回「印象を探る」(2021 年 12 月 18 日)

静岡市立美術館展覧会「ランス美術館コレクション 風景画のはじまりカラーから印象派へ」(2021 年 11 月 20 日～2022 年 1 月 23 日 於 静岡市美術館)との連動企画
深尾茅奈美氏(静岡市美術館学芸員)、浅間哲平
56 名(一般 26 名、学生 30 名)参加

◇ 第 7 回「近代化の出発点静岡:1867 年パリ万博とのつながり」(2022 年 1 月 8 日)

宮崎晋生、小窪千早、浅間哲平
B-nest とオンライン会議システム(Zoom)による中継
49 名(遠隔 30 名、対面 19 名)参加

◇ プレーメン州立経済工科大学 連続 Zoom 講義:“Societies in Crisis”(危機に瀕する社会)

第 1 回 “Crisis of Globalization”(グローバル化の危機)

Tim GOYDKE (経済学部教授)、2021 年 12 月 7 日

第 2 回 “The resilience of the German social state facing the Covid-19-crisis”(コロナ禍で示されたドイツ社会福祉制度の柔軟性)

Silke BOTHFELD (社会学部教授)、2021 年 12 月 15 日

第 3 回 “Tourism in Crisis – Focus on Africa”(観光産業の危機:アフリカを中心に)

Rainer HARTMANN (社会学部教授)、2022 年 1 月 11 日

第 4 回 “Germany’s New Government and the Climate Crisis”(ドイツの新政府と気候危機)

Beate ZIMPELMANN (社会学部教授)、2022 年 1 月 25 日

WERC 公式ウェブサイト(<http://werc.u-shizuoka-ken.ac.jp>)の運営

WERC の公式ウェブサイトの内容の充実をはかり、閲覧者に提供するサービス向上につとめた。具体的には WERC が後援または共催する特別講義や講演会・セミナー、および WERC 研究会を告知した。また、センター活動報告書の 2021 年度分を追加した。「広域ヨーロッパ研究ツールの開発」と連携しつつ、European Studies 共通テキストの資料編・入門編を継続的に改訂・増補した。

広域ヨーロッパ研究ツールの開発

6 年計画の広域ヨーロッパ研究ツール開発の 4 年目に入り、テーマ設定のための資料集、先行研究を検討するためのテキスト、文献・資料等の所在のガイドブック、議論のまとめ・洗練をうながすための報

告会、執筆のためのノウハウ集などの作成を目指した。また、WERC 研究会を開催し、研究員それぞれの専門領域における最新の研究動向と今後の展望、学部・研究科の教育における広域ヨーロッパ研究の成果の反映について情報の交換と共有につとめた。

教育関連資料の提供

- ▷ オンライン会議システム(Zoom)を利用し、合同ゼミ学生発表会のウェブ中継を実施した。

「内なる国際化」および国際交流協定校との学術交流の推進

留学生と研究員・本学部学生との交流の強化と拡大に向けて、センターが開催する研究会やセンター研究員による講義等での交流や留学生支援を充実させ、協定校との学術交流を推進した。

- ▷ ブリュッセル自由大学(ULB)との学術協力活動について、今年度の協定更新を機に、ULB のヨーロッパ研究所(IEE)との交流を中心とする ULB とのさらなる研究交流の推進について意見交換を行った。
- ▷ バリャドリード大学教育学部リカルド・デ・ラ・フエンテ准教授によるオンライン特別講義(オンデマンド)「アントニオ・マチャードをめぐって-印象派と俳句」を企画。講義ビデオを作成した(2022 年 5 月公開予定)。
- ▷ ボアジチ大学との学術交流活動を推進し、同大学の教員による特別講義を実施した。ボアジチ大学からの留学生との交流については、派遣が延期になったため、派遣が予定されていた交換留学生とオンライン面談を重ね、履修相談等を含む留学サポートを行なった。
- ▷ ブレーメン経済工科大学との学術交流活動を推進し、「危機管理社会」をテーマにした同大学の教員4名によるオンライン講義を開催した。
- ▷ 広域ヨーロッパ研究センターと部局間協定のあるモルドヴァ外交政策協会との学術交流を再確立するために、同協会の2名をセンターの客員研究員とした。

WERC 研究会

以下の2回を開催した。

- ・ 六鹿茂夫(客員研究員)「新冷戦と欧州＝中国関係」(2021 年 6 月 18 日)
- ・ 六鹿茂夫(客員研究員)「新たな局面を迎えた欧米とロシアの新冷戦——非武装中立はプーチンの最終戦略目的か?——」(2022 年 3 月 3 日)

